

学則科目一覽

《卒業要件》

所定の必修単位8単位を含む、合計62単位以上を修得すること。

このうち、15単位以上は、メディア科目履修であること。

※授業形態が「オンデマンド」、「リアルタイム」の科目はメディア科目履修です。

※履修登録の上限（一年次）：42単位/年間

※教養科目から必修科目8単位と選択必修科目8単位を含む20単位、専門科目から選択必修科目24単位を含む42単位を修得すること。

※総合研究科目の選択科目のうち、「デュアル実習」、「プレゼンテーション演習」、「卒業研究発表」から2単位を選択必修とする。

教養科目

科目名	授業形態	配当年次	単位数		
			必修	選択必修	選択
《一般教養》					
経済学	テキスト	2			2
心理学	テキスト	1			2
文学	テキスト	2			2
日本国憲法	テキスト	2			2
おだたん人間成長講座Ⅰ	テキスト	1	2		
基礎学力演習	テキスト	1			2
学習法概論	オンデマンド	1			2
文章構成法	オンデマンド	1			2
情報リテラシー	テキスト	1		2	
栄養学入門	テキスト	1			2
《外国語》					
英語	テキスト	1	2		
英会話	オンデマンド	2			2
《体育》					
健康・スポーツ理論	テキスト	1			1
《ライフデザイン》					
ライフデザイン学	テキスト	1	2		
生活経営論	テキスト	1	2		
ライフデザイン演習	オンデマンド・リアルタイム	2		1	
キャリアデザイン	テキスト	1			2
キャリアデザイン演習	オンデマンド	1			2
コミュニケーション論	テキスト	1			2
コミュニケーション演習	オンデマンド・リアルタイム	1			1
未来デザインプログラム	オンデマンド	1			2
食生活デザイン	テキスト	1		2	
住生活デザイン	テキスト	1		2	
衣生活デザイン	テキスト	1		2	
特別支援教育	テキスト	2		2	
くらしと社会保障	テキスト	2			2
まち・ひと・しごと創生論	テキスト	2		2	
金融リテラシー	テキスト	2			2

専門科目

科目名	授業形態	配当年次	単位数		
			必修	選択必修	選択
《メディアデザイン》					
カラーコーディネート	テキスト	1		2	
デッサン・イラストレーション	テキスト	1		2	
デザインの基礎	テキスト	1		2	
グラフィックデザイン	オンデマンド	1		2	
グラフィック演習Ⅰ	オンデマンド	2		2	
グラフィック演習Ⅱ	オンデマンド	2		2	
WEBデザイン	オンデマンド	2		2	

専門科目

科目名	授業形態	配当年次	単位数		
			必修	選択必修	選択
《メディアデザイン》					
ブランドマーケティング	テキスト	1		2	
ベーシックネイル	オンデマンド	1			2
ネイルアート	オンデマンド	2			2
ベーシックメイク	テキスト	1			2
パーソナルメイク	オンデマンド	2			2
コスメ・ファッションマーケティング	テキスト	1		2	
ビューティー・ファッションカルチャー	テキスト	1			2
ビューティー・ファッションコーディネート	オンデマンド	2			2
ビューティー・カウンセリング	オンデマンド	2			2
《ビジネスデザイン》					
ビジネス実務総論	テキスト	1		2	
Word演習	オンデマンド	1		2	
Excel演習	オンデマンド	1		2	
PowerPoint演習	オンデマンド	2		2	
マーケティング	テキスト	1		2	
SNSマーケティング	テキスト	2		2	
観光ビジネス概論	テキスト	2			2
社会心理学	テキスト	2			2
モチベーション論	テキスト	1		2	
簿記	テキスト	1			2
医療事務	テキスト	2			2
秘書実務	テキスト	2			2
動画編集基礎	テキスト	1		2	
動画編集応用	オンデマンド	2		2	
《ITデザイン》					
データサイエンス	オンデマンド	1		2	
ITと社会	テキスト	1		2	
IT戦略概論Ⅰ	オンデマンド	1		2	
IT戦略概論Ⅱ	オンデマンド	1		2	
情報化技術Ⅰ	テキスト	2			2
情報化技術Ⅱ	テキスト	2			2
WEB開発Ⅰ	オンデマンド	1		2	
WEB開発Ⅱ	オンデマンド	1		2	
プログラミング基礎Ⅰ	オンデマンド	1		2	
プログラミング基礎Ⅱ	オンデマンド	1		2	
プログラミング応用Ⅰ	オンデマンド	2			2
プログラミング応用Ⅱ	オンデマンド	2			2
IT開発プロジェクトⅠ	テキスト	2		2	
IT開発プロジェクトⅡ	オンデマンド	2		2	
《総合研究》					
デュアル実習	リアルタイム	2		2	
プレゼンテーション演習	オンデマンド・リアルタイム	2		2	
卒業研究発表	リアルタイム	2		2	

科目の概要

◆教養科目◆

《一般教養》

科目名	授業科目の概要
経済学	「生活」に関わる金融・経済に焦点を当て、生活者として欠かすことのできない経済の基礎を学習する。社会に出るまでに身につけておくべき金融・経済の基礎知識を、様々な領域から幅広く学ぶ内容となっている。学習した知識を生活に活かし、自らの判断で行動を選択できるようになることを目標とする。また、金融・経済に対する関心を広げ、経済ニュースなどにも興味を持てるよう、身近な事例を取り上げながら理解を深めていく。
心理学	大学で学ぶ心理学とは様々な事柄を研究テーマとして取り上げる「心の科学」であり、仮にその対象は何であってもあくまでも事実と証拠に基づくということが前提となっている。この授業では、なるべく自分の日常に照らし合わせ考えていけるように、自分がどのように物を見て考え、行動しているのかなど、普段の生活では当たり前になっていることを心理学の見地から考え、自分の視野を広げることを試みる。
文学	近現代の日本文学を分析的に読み、文学史や作家についての知識を得、社会人として生きる上で必要な読解力と文学的感性を養う。文学が時代や地域を超えて伝える人間性や感情の豊かさに触れ、自己や他者への理解を深める。テキストの読解を通して表現力の理解や批評的思考を養う。文学を通して現代社会における多様な文化に目を向け、自身の価値観や人生観を見つめることを目指す。
日本国憲法	憲法の意義（立憲主義）や原理（基本的人権の尊重、平和主義、国民主権）を理解するとともに、そこで保障されている具体的な権利とその侵害や制約について事例に学び、憲法問題を知る。また、裁判所の判断基準や条理を知り、法律的なものの見方に触れる。
おだたん人間成長講座Ⅰ	建学の精神に基づいて設置する総合的な教養科目である。本学の歴史や校歌を学び、読書、美術館鑑賞、日本の文化や古典芸能鑑賞を行い、地域活動へのかかわりを経験する。これらを通して本学の建学の精神や教育理念を理解し、本学学生としての自覚を高め、自己を見つめ、人としての生き方・学び方を考える。
基礎学力演習	この科目における「基礎学力」とは、社会人として必要な基礎的な計算スキル、漢字や言葉を正しく遣えるスキルができることを指す。2年間の学習の土台を養う機会になり、他の科目の学習の学びを深めることに繋がる。具体的な学習内容としては、小数・分数などの基本的な計算の仕方や漢字検定準2級程度の漢字力、敬語や接続語などの適切な言葉の遣い方が中心となり、ドリル形式で学習を行う。
学習法概論	短期大学での学びを効果的に進めるための基本的な学習方法やスキルを習得することを目的とした科目である。高校までの学びとの違いを理解し、時間管理、ノートテイキングなど、具体的な学習方法を体系的に学ぶ。また、目標設定や振り返りを通じて、自己成長を促すための実践的なアプローチを学ぶ。主体的かつ能動的な学習姿勢を身につけ、卒業後の学びの発展やキャリア形成の基盤を築くことを目指す。
文章構成法	短期大学の学びに必要なレポートや論文の基本的な書き方を通じて、社会で通用する文章作成能力の習得を目的とする科目である。論理的で説得力のある文章を書くための構成方法や、序論・本論・結論のバランスを考えた文章展開を中心に学習する。資料の調査や引用のルールも取り扱う。この科目を通じて、他の授業科目の課題に取り組む際の思考力・表現力を向上させることを目指す。
情報リテラシー	この科目では、情報社会における適切なリテラシーを習得し、生活や学習、仕事に活かせる実践力を高めることを目指す。インターネットやSNS、デジタルメディアなど、日常的に使用する情報源の特性を理解し、フェイク情報に惑わされず、正確で信頼性のある情報を見極める力を養い、情報検索の基本的な方法やデータの整理・分析についても学習する。
栄養学入門	健康的な生活を支えるための基礎知識として、栄養と健康の関係を学ぶ科目である。食生活の意義、栄養の基礎知識、人間の発育・発達と食生活の関連、食育の基本など、主体的に選択していく社会人として必要な基礎的な内容を学ぶ。さらに、現代の食環境や食文化の多様性、食物アレルギーや障害など特別な配慮を要する場合の食と栄養についても学び、個々の生活に適した食習慣をデザインする力を養うことを目指す。

《外国語》

科目名	授業科目の概要
英語	海外での旅行をテーマにした教材を使って、英語の基礎的なコミュニケーション能力を高める科目。扱う海外での場面の英会話を、音声教材とテキストを使って学ぶ。授業は、1回1・2場面の速さで進む予定。毎回の授業では、最初に音声を聞きながら英語をリスニングし、次にそれをテキストに書き込む。その後再び音声を聞きながら、発音・イントネーション・速さの点で自然な英語が身につくよう練習をする。
英会話	学生のspeaking と listening の強化を目指す科目。海外でのホームステイをテーマにした教材を使って、英語の基礎的なコミュニケーション能力を高めることを狙う。海外でのホームステイで15場面の英会話を、音声教材とテキストを使って学ぶ。授業では最初に音声教材を聞きながら英語をリスニングし、次にそれをテキストに書き込む。その後再び音声教材を聞きながら、発音・イントネーション・速さの点で自然な英語が身につくよう練習する。

《体育》

科目名	授業科目の概要
健康・スポーツ理論	健康・スポーツとは、大きく分けると運動生理学やスポーツバイオメカニクス、筋パワーなどスポーツ科学的視点、スポーツ外科やリハビリテーションなどのメディカルの視点に分けることができる。本科目ではスポーツ科学やメディカルの側面を学びつつも健康に重点を置き、その中で、からだ、運動・スポーツがそれぞれ健康にどのように関連しているか知る。また、健康生活を営むために運動・スポーツを実施する際の留意点や年齢に応じた内容など総合的に学ぶ。

《ライフデザイン》

科目名	授業科目の概要
ライフデザイン学	ライフデザイン総合学科のコア科目として、自身の人生設計を中心にキャリア形成等について主体的に考える力を養う科目である。人生の各段階で直面する課題を整理し、自己理解を深めながら目標設定や意思決定のプロセスを学んでいく。現代社会の多様な価値観や働き方、家庭や地域との関わり方を考察し、自分らしい生き方をデザインする視点や他者と協働する姿勢を培うことを目的とする。
生活経営論	豊かな人生を送るために必要な「生活経営」の知識を学ぶ。単なる家計管理にとどまらず、身の回りのあらゆる「資源」を最大限に活用し、主体的に生活をデザインする視点を養う。情報、地域社会、家族、仕事、福祉、消費など多岐にわたるテーマを通して、変化の激しい現代社会において、持続可能な生活を築くための知識と実践的な考え方を習得することを狙いとする。
ライフデザイン演習	経済・社会の一員として生きるため、ライフデザイン学での学びを基軸にキャリア意識の育成に取り組む。演習を通じて自己の課題意識と探究テーマに対する理解を深めながら、目標設定や意思決定のプロセスを学び、キャリア形成に統合していく手法を学ぶ。現代社会の多様な価値観や働き方、家庭や地域との関わり方を考察し、自分らしい生き方をデザインする視点や他者との協働に向けた心構えを備える人物の育成を目的とする。
キャリアデザイン	自分らしいキャリアを築くための考え方やスキルを学び、キャリア形成に必要な産業・職業の基礎的な理解を得る科目である。多様な視点でキャリアについて考える機会を提供するとともに、自己理解を深める機会を設け、学生自身が持つ職業観を整理するための知識を提供する。この科目を通して、自分自身のキャリアプランを主体的に描くための基礎知識の習得を目指す。
キャリアデザイン演習	自己分析や目標設定を行い、自分の価値観や強みを理解するだけでなく、それを具体的な行動計画に落とし込む力を養う科目である。履歴書の作成や模擬面接を実施し、就職活動に必要な実践的スキルを習得する。職業観や社会の動向について考察し、変化の激しい現代における柔軟なキャリア形成の重要性を理解する。この科目を通じて、自己の将来を具体的にイメージし、主体的に行動できる力を身につける。
コミュニケーション論	対人関係の構築と円滑な意思疎通の方法や、自ら課題を見つけ他者を巻き込んで解決を導き出す方法を学ぶ。言語的・非言語的なコミュニケーションの特性を理解し、自己表現力や傾聴力を高める実践的なスキルを習得する。また、現代社会における多文化共生やデジタルコミュニケーションの課題を学び、職場や社会で自ら自信を持って人と関わる力を見出していく。
コミュニケーション演習	良好な人間関係を築くためのコミュニケーションスキルを実践的に学ぶ科目である。協働作業の実践を通して、何を伝え合う必要があるのか、またなぜ伝え合わなければならないのかといったコミュニケーションの本質を理解し、社会や地域において共に分かち合い、協働できる力を養う。相手の意見を尊重しながら自分の意見を論理的に見直し、誠実かつ柔軟なかわりができるようになることを目指す。

科目名	授業科目の概要
未来デザインプログラム	三幸学園の教育理念である「技能と心の調和」における「心」に関する考え方を学ぶために、ベストセラー「7つの習慣」を体系的に学ぶ科目である。職業人としてあるべき人格を高め、主体性を発揮して物事にチャレンジできる人材に成長するために、様々な題材を活用しながら学ぶ。自身の生活を豊かにするための意味付けや、そのことが他者、社会に向けてどう影響しているかを考えていくことも学びの一つとなる。日常生活そのものの中から学びを見出すことで、自らをアップデートし続けることにもつながる。
食生活デザイン	さまざまな価値観があることを互いに認め合う時代、より自分らしいものが求められるようになった状況下において、健康で豊かな生活を実現するための食生活のあり方を学ぶ。食文化の継承や地産地消、食品ロスなどの社会的な課題にも目を向け、持続可能な食生活のデザインについて理解を深める。この科目を通して、個人と社会の視点から職生活の質を向上させるための知識とスキルを身につけることを目指す。
住生活デザイン	住生活や住環境とは何かを理解するための基礎知識を学ぶ科目である。住生活や住環境に関する社会的背景や歴史の変遷を理解し、生活スタイルや人間の行動パターン、住まいを取り巻く環境やバリアフリーなど様々な領域から「住生活」をとらえ、多様な住生活・住環境のあり方を学ぶ。住生活に関する知識と創造力を養うことで、居住地域の課題にも目を向ける素養を身につける。
衣生活デザイン	衣服の歴史や文化的背景を理解し、素材や機能性、デザインの観点から衣生活を考察する。また、環境や多様性に配慮した衣服のあり方、持続可能な衣生活についても学ぶ。主な内容は、衣服の歴史と文化的背景、環境配慮型の衣服、実践的な衣生活デザインの提案である。衣生活に関する知識を深めるとともに、創造的かつ持続可能な衣生活の提案力の素地を養う。
特別支援教育	特別支援教育の歴史の変遷と教育内容の概要を学び、多様な支援について理解を深めることを目的とした科目である。境域現場における支援体制や機能を理解することに重きを置くことで、社会的包摂による共生社会実現に向けた基礎的な知識を身につけることを目指す。
くらしと社会保障	人生100年時代の視点からくらしに係る社会保障の制度の基礎知識を学ぶとともに、生活習慣病やフレイルとその予防、認知症、在宅医療等に対応する各制度とその事例等を学ぶ。健康づくりと超高齢社会を支える基礎となる社会保障について、少子高齢化などに対応した変遷、社会保険である公的年金、医療保険、介護保険や労働保険等の概要を理解する。コミュニティに重点を置いた地域包括ケアシステムの概要など、地域の構成員として知っておくべき制度や法律などの知識を得ることを目的とした科目である。
まち・ひと・しごと 創生論	自治体における観光まちづくりに関わる事例を紹介し、まちづくりプランナーとして必要な観点や手法を学ぶ。地方創生に向けた官民連携施策、地域資源を生かしたブランディング、スマートシティ化への移行、地域コミュニティの参画者として自身を位置づけ、他の科目で得た知識・知見・スキルをどのように地域課題解決のために活用し、実践できるかを考える素地を身につける。
金融リテラシー	学生がお金に関して情報に基づいた意思決定を行えるよう、現代社会で求められるお金や金融に関する基礎知識と活用スキルを学ぶ科目である。貯蓄、投資など日常生活に関わる金融の基本的な仕組みを理解し、経済や金融市場の動向を読み解き、自身のライフデザインに活かす知識を持つ。これにより、将来の生活設計やリスク管理に役立つ実践的な知識を習得し、自立した経済生活を送る基盤を構築することを目指す。

◆専門科目◆

《メディアデザイン》

科目名	授業科目の概要
カラーコーディネート	色彩に関する基礎知識とその応用方法を学び、日常生活やビジネスに活かせるカラーコーディネートのスキルを身につける。色の基本理論、配色のルール、色が与える心理的・視覚的效果について理解を深める。また、ファッション、インテリア、デザイン、プレゼンテーション資料など、具体的な場面で色の選び方や組み合わせの技術を学ぶ。さらに、パーソナルカラーの概念や、個人の印象を引き立てる色彩活用法も取り上げる。この科目を通じて、色彩に関する知識を実生活で活用し、自己表現や魅力を引き出す力を養うことを目指す。
デッサン・イラストレーション	デッサンとイラストレーションの基本技法を学び、自分の表現力を高める。テキスト学習を通じて、線の使い方や構図の取り方、明暗表現など、基礎的な描画スキルを身につける。さらに、さまざまな画材の特性を理解し、描画方法を実際に試すことでスキルの向上を図る。また、デッサンで培った観察力や形態把握力を、ファッション分野やデザイン分野へ活用するための素地を養う。またグラフィックデザインの基礎知識にも触れ、コミュニケーションツールとしてのイラストレーションについても学ぶ。
デザインの基礎	デザインに関する基本的な知識と表現技法を学ぶ科目である。デザインの概念や理論を理解しながら、形状、色彩、構図といった基礎的な要素について学び、創造的な発想力を養う。主な内容は、デザインの概念と役割、基礎的なデザイン理論、配色や構図の基本、タイポグラフィ、インフォグラフィックなどである。日常生活や社会におけるデザインの重要性を理解し、広い視野でデザインに取り組む力を身につけることで、専門科目の「グラフィックデザイン」「グラフィック演習Ⅰ」「グラフィック演習Ⅱ」を履修するための基礎力を養う。
グラフィックデザイン	「デザインの基礎」で学んだことをベースに、グラフィックデザインの基礎知識と技術を学び、視覚的な表現力を高める。デザインの基本原則である構図、配色、タイポグラフィについて学びながら、目的に応じた効果的なデザインの作成方法を習得する。講義では、ポスター、チラシ、ロゴなどの制作過程を通じて、デザインソフトの基本操作や実践的なスキルも身につける。また、デザインが持つコミュニケーションの力を理解し、メッセージを視覚化する技術を深める。この科目を通じて、日常やビジネスの場面で活かせるデザインのスキルを習得する。
グラフィック演習Ⅰ	実践的な制作活動を通じて、グラフィックデザインの基本スキルを習得する。ポスターやチラシ、名刺などの制作を題材に、デザインの企画から完成までの流れを実際に体験する。デザインソフト（IllustratorやPhotoshop）の基本操作やレイアウト、配色、タイポグラフィの応用技術を学びながら、視覚的に魅力的で効果的なデザインを作成する力を磨く。また、課題に取り組む中で、企画意図を的確に表現する方法や、目的に応じたデザインの工夫ができるようにし、表現力を向上させる。この科目を通じて、基礎を確実に身につけ、より高度なデザインスキルへのステップを踏む。
グラフィック演習Ⅱ	「グラフィック演習Ⅰ」で学んだ基礎を発展させ、より高度なグラフィックデザインスキルを習得する。ブランドロゴ、広告デザイン、パッケージデザインなど、実際のデザイン現場を想定した課題に取り組み、デザインの企画力や完成度を高める。デザインソフトの応用操作に加え、配色理論やタイポグラフィの実践的な活用方法を学び、作品のクオリティを向上させる。さらに、ターゲットやコンセプトを意識したデザイン提案や、プレゼンテーションスキルの向上も目指す。この科目を通じて、プロフェッショナルなレベルでのデザイン制作能力を身につけるとともに、創造力と表現力をさらに深化させる。
WEBデザイン	インターネットで公開されているWEBサイトの仕組みを理解し、「読みやすく」、「伝わる」ことを意識したWEBデザインの基礎を学習する。文字や画像の配置、リンクの設定、色やフォントの選び方など、視覚的に魅力的なページ作りに必要な基本要素を学ぶ。また、レスポンシブデザインやアクセシビリティの基本概念についても触れ、多様なデバイスやユーザーに対応したWEBデザインの基礎を身につける。
ブランドマーケティング	ブランドの価値を理解し、消費者に魅力を伝えるためのマーケティング手法を学ぶ。学習を通じて、ブランド戦略の基本概念、ターゲット市場の分析、ブランドイメージの構築と管理について理解を深める。ブランドを表現する商品コンセプトの考え方から、販売手法までを一貫して学ぶことで、ブランドマーケティングの全体像を理解する。加えて、SNSや広告など、現代のマーケティングツールを活用した効果的なプロモーション方法にも触れる。この科目を通じて、ブランドを通じて社会や市場で価値を生み出すための知識を身につけることを目指す。
ベーシックネイル	ネイルケアやデザインの知識を学び、ネイルアートの基礎的なスキルを身につける。テキストを通じて、爪の構造や衛生管理、基本的なネイルケアの技法について理解を深める。また、カラーリングや簡単なアートデザインなどの基礎技術も学習する。さらに、ネイルケアを行う際の道具の使い方や施術における注意点、安全性への配慮についても取り扱う。学んだ知識は、日常のセルフケアからネイルに関わる仕事への基礎力として活用できることはもちろん、表現力やカラーコーディネートなど、生活やビジネスシーンでも活かされる普遍的なスキルの醸成に寄与することを狙いとする。
ネイルアート	ネイル構造と衛生・消毒法・皮膚科学を学んだ上で、ネイルケアやネイルアートの技法を習得する。具体的には、アクリルパウダーとリキッドを使った3Dアートを中心としたネイルアートの技術を身につけ、フラットアートと3Dアートを組み合わせるよりレベルの高いテクニックを習得し柔軟な発想でデザインを考え作品を制作する。また、授業を通して、正しいネイルケアについて知り、ネイルアートの専門知識・技能を習得すると同時に、生活や社会の中で活用できる表現力や発想力を高める。
ベーシックメイク	メイクの基本知識と技術を学び、自分らしい魅力を引き出す方法を身につける。テキスト学習を通じて、肌の構造やスキンケアの基本、顔のパーツごとのメイク手法を理解する。また、肌質や顔立ちに応じたメイクの工夫や、ナチュラルメイクからフォーマルメイクまでの応用技術も学習する。さらに、使用する道具や化粧品選び方、安全性の確保、衛生管理についても取り扱う。この科目は、初心者にもわかりやすく、自分のライフスタイルや目的に合ったメイクを実践できるスキルを提供する。日常生活やビジネスシーンに活かせる知識を習得し、表現力を高めることを目指す。

科目名	授業科目の概要
パーソナルメイク	この科目では、実践を通じたメイク技術を学ぶ。肌の質感や顔の特徴、パーツバランスを分析し、自分らしさを引き出すメイクの方法を習得する。実践学習では、スキンケアからベースメイク、アイメイク、リップメイクまで網羅的に技術を深める。また、TPOに応じたメイクのアレンジ方法やカラーコーディネート基礎知識や、ヘアスタイルやファッションに合わせたメイクテクニックも学ぶ。さらに、プロフェッショナルな道具の使い方や衛生管理、メイクアップの心理的効果についても学習する。この科目を通じて、自己表現力や印象づくりのスキルを向上させ、日常生活やビジネスシーンで役立つ実践的なメイク技術を身につけることを目指す。
コスメ・ファッションマーケティング	コスメやファッション業界におけるマーケティングの基礎と戦略を学び、実際のビジネスに応用する力を養う。消費者のニーズや市場動向を分析する方法を学び、ブランド戦略、プロモーション手法、商品企画のプロセスについて理解を深める。また、コスメやファッションのトレンドを掴み、ターゲットに合わせたマーケティング戦略を立案するための基礎を押さえる。さらに、成功事例や最新のマーケティング手法を学ぶことで、業界のダイナミックな変化に対応できる柔軟な視点を身につける。この科目を通じて、コスメ・ファッション分野で活躍するための基本的な業界知識とマーケティング知識を習得する。
ビューティー・ファッションカルチャー	美容とファッションの歴史や文化から、現代社会におけるこれらの業界のマーケティング戦略やトレンドまでを学ぶ。さらに、美容やファッションが人々の生活や社会に与える影響についても考察することで、美容とファッションがどのように個人の自己表現やアイデンティティの形成に貢献しているかを理解する。授業の中では、様々なデザイナーの作品やコレクション鑑賞を通じて、その背後にあるコンセプトやテーマを読み解くことで、独自の発想力や表現力を高めるための感性を磨く。
ビューティー・ファッションコーディネート	美容・ファッション業界の基礎知識やトレンドへの理解を活かして、実際にブランドをプロデュースする力を養う。この演習を通じて、商品開発やマーケティング手法、流通戦略など、業界に対する理解を更に深め、理論に基づいた応用力と実践的なスキルを身につけることを目指す。また、自分のアイデアを具体的な形に表現する力や、他者に対して効果的に提案する力を養う。これにより、日常生活はもちろん、美容・ファッション業界だけでなく、マーケティングやデザイン、さらにはビジネス全般においても役立つスキルを習得することを目的とする。
ビューティーカウンセリング	美容分野におけるカウンセリングスキルを学ぶことで、他者のニーズに応じた提案ができる力を養う。肌や髪、メイクに関する基本的な知識を身につけるとともに、最新の美容トレンドや商品知識についても理解を深める。また、ライフスタイルや悩みに合わせた美容プランの提案方法を学ぶ。美容に関する知識だけでなく、カウンセリングの流れを学習することで、他者との信頼関係を築くための聞き方や伝え方、適切なアドバイスの方法など、コミュニケーション能力やヒヤリング力、提案力を高める。この科目の学習を通じて、美容業界はもちろん、日常生活やビジネスシーンで幅広く役立つ対人スキルを身につけることを目的とする。

《ビジネスデザイン》

科目名	授業科目の概要
ビジネス実務総論	ビジネスにおける基本的な理念や仕組みの全体像を学び、社会人として必要な知識とスキルを身につける。企業活動や経営の基礎知識を学ぶことで、社会人としての視野を広げ、主体的にキャリアを形成する力を養う。また、マーケティングや会計制度、契約法に関する基本も学ぶことで、ビジネスで求められる実務スキルについても学習する。この科目を通して、授業目的は、社会で活躍するための基本を総合的に習得することができる。
Word演習	Microsoft Wordの基本操作から応用技術までを学び、ビジネスや日常生活で役立つ文書作成スキルを習得する。テキスト学習を通じて、文字入力やレイアウト設定、表や画像の挿入、スタイル設定など、文書を見やすく整理する方法を学ぶ。また、テンプレートの活用や目次作成、差し込み印刷といった実務に応用できる機能についても習得する。さらに、文書作成の効率化を図るショートカットや機能の活用法にも触れる。この科目を通じて、プロフェッショナルな仕上がりの文書を作成できる力を身につけ、仕事や学びの場で自信を持って活用できるスキルを養うことを目指す。
Excel演習	Microsoft Excelの基本操作から応用までを学び、データの整理や分析に役立つスキルを習得する。セル操作や表作成、関数や数式の利用方法を学ぶとともに、グラフの作成やデータの視覚化技術を身につける。さらに、フィルターやソート、ピボットテーブルを活用したデータ分析や、条件付き書式設定による効率的な情報整理も取り扱う。また、実務でよく使用されるテンプレートや自動化ツールの活用についても学習する。この科目を通じて、日常生活や仕事でExcelを効果的に使いこなせる実践的なスキルを身につけることを目指す。
PowerPoint演習	伝えたいことを正確、簡潔、わかりやすくまとめてプレゼンテーションする力は、業種、職種に関わらず、すべてのビジネスパーソンに必要な能力である。この科目では、プレゼンテーション基礎力の習得を目指して、ストーリーの組み立て方、資料の作り方、発表の仕方の基本を学ぶ。資料作成および発表ツールはPowerPointを使用し、プレゼンテーションに最低限必要な基本操作を一通り学習する。
マーケティング	本授業では、現代の多様な市場環境において、顧客ニーズを的確に捉え、価値を創造・提供するためのマーケティング戦略を体系的に理解することを目的とする。具体的には、市場分析、顧客理解、製品・サービス開発、プロモーション、販売戦略など、マーケティング活動全般に必要な知識とスキルの習得を目指す。さらに、デジタル技術の進化やグローバル化など、変化の激しいビジネス環境に対応できる柔軟な思考力と、倫理観に基づいたマーケティング活動を実践できる能力の育成も行う。

科目名	授業科目の概要
SNSマーケティング	SNSを活用したマーケティングの基本から応用までを学ぶ。主要なSNSプラットフォームの特徴や独自機能、ユーザー層や利用方法を理解し、それぞれの特性に応じたマーケティング戦略の立案方法を学習する。さらに、ターゲット設定や効果的なコンテンツの作成、投稿スケジュールの最適化、分析ツールを用いた効果測定、炎上リスクの理解と対応方法など、実務で役立つ具体的な手法を習得する。この科目での学びを通して、あらゆる業界において、SNSを活用したマーケティング活動を効果的にを行い、ビジネスの成長を促進するためのスキルを身につけることを目的とする。
観光ビジネス概論	「観光立国宣言」をした日本は、日本人の海外旅行や国内旅行だけでなくとどまらず、訪日外国人旅行の誘致を積極的に行っている。本講義では、観光ビジネスの全体像を把握し、持続可能な観光の実現に向けた知識の習得を行う。観光産業の構造や動向、観光資源の活用、地域振興、など、観光ビジネスに関わる要素に加え、少子高齢化や人口減少、インバウンド、データサイエンスなどの観点から、観光と社会の関わりを理解する。これらの知識とスキルを習得することで、持続可能な観光の発展に貢献できる人材育成を目指す。
社会心理学	社会心理学では、私たち自身（個人）と、私たちが所属する社会集団との関わりに焦点をあて、私たちの「こころ」のしくみについて考察を進める。個人が社会集団の中でいかなる認知をするのか、さらに「他者」との関係の中で私たちはどのように適応しようとするのか、あるいは「集団」の一員と化した時に人はどのようにふるまうのかを中心に学習する。また、社会心理学の周辺領域における社会科学の基本的な考え方や技法を取り上げ、これらを自分の生活の中に認められる様々な現象・行動に当てはめ、人の行動についての理解を深めていく。この科目を通じて、社会心理学の知識を現実の課題に結び付け、より深い学びと実践力を身につけることを目指す。
モチベーション論	仕事や学習に取り組むとき、重要な役割を果たすモチベーションについて、その概念と理論を学び、自身の日常の活動に活かしたり、職場や学習の場で起こるモチベーションに関する事象に適用して考察したりする力を養う。具体的には、内発的動機づけや外発的動機づけの違い、欲求段階説や期待理論、目標設定理論など、モチベーションに関する主要な理論を学習する。また、職場や生活の場で、個人の成長においてモチベーションを高める具体的な方法や、自己効力感やフィードバックの役割についても学ぶ。この科目を通じて、自己のモチベーションをコントロールする要素や他者のやる気を引き出すための知識を身につけることを目指す。
簿記	誰もがビジネスに関わり、その結果として「お金」という収入を得て生活している。簿記は、その「お金」を得るためのビジネスの取引をシンプルに数字で示す共通の言葉である。本科目は、初めて簿記を学ぶ人を対象とし、簿記の基本的な骨組みを徹底的に学ぶことで、経営的視点を身につけ、ビジネスの世界をより深く理解できるようになることを目指す。また、日商簿記検定3級の資格取得を目指す学生に向けた、3級入門の役割を担う科目でもある。
医療事務	医療機関での事務業務に必要な知識とスキルを学ぶ。医療保険制度の基礎、診療報酬請求（レセプト）の仕組み、医療用語や薬剤の基本を理解する。また、患者対応や電話対応といった接客マナーや、個人情報保護に関する法的知識についても学ぶ。さらに、事例を通じて医療事務の実務フローを具体的に学び、実践的な力を養う。初心者にもわかりやすい内容で構成されており、医療事務としての基礎力を確実に身につけることができる。この科目を通じて、医療機関での業務に自信を持って取り組める実践的なスキルと知識を得ることを目指す。
秘書実務	トップマネジメントを補佐する秘書は、会社・企業に関係する幅広い知識と秘書実務の専門的知識が求められる。そのような知識を習得するために、本科目では、秘書の役割や、ビジネスマナー、文書作成、スケジュール管理、経理業務、慶弔業務、情報管理、コミュニケーションスキルなどを学ぶ授業構成とする。秘書として必要な能力や心構えを理解することで、就職活動やキャリアアップに役立てることができる科目である。
動画編集基礎	動画制作の基本スキルを学び、企画から配信までの一連の流れを学ぶ。動画の出力形式や解像度、ファイル管理といった基礎的な知識に加え、一般的な動画編集ソフトの基本操作やタイムラインの活用方法、カット編集や音声の挿入、テキストやエフェクトの追加などの基礎技術を学ぶ。また、映像制作における構成やストーリーボードの作成方法についても学習することで、効果的なストーリーテリングを目指す。この科目を通じて、初心者でも基本的な動画を制作するための知識を養うことを目指す。
動画編集応用	動画制作の基礎スキルをさらに発展させ、より高度で実践的な映像制作技術を習得する。実践学習を通じて、トランジションやアニメーション効果、高度なエフェクトの適用方法、複数トラックを使った動画編集技術を学ぶ。また、カラグラディングや音声の調整、BGMや効果音の活用による映像の完成度向上にも取り組む。さらに、映像作品の目的やターゲットに応じたストーリーテリングや構成力を養い、企画から編集、最終出力までの全プロセスを実践的に経験する。この科目を通じて、映像制作における表現力と技術力を向上させ、自分のアイデアを効果的に伝える動画作品を制作する力を身につけることを目指す。

《ITデザイン》

科目名	授業科目の概要
データサイエンス	現代社会の生活やビジネスシーンにおいて、データがどのように活用され、社会課題の解決に寄与しているかを理解する。授業の中で、データの正しい扱い方やビジネスへの応用など、実践的なスキルを身につけることを目指す。また、データの倫理的な扱いやプライバシー保護についても学び、データを活用する上での重要な知識を総合的に習得する。これにより、統計学の知見がない学生でもデータサイエンスの基礎をしっかりと理解し、実際のビジネスシーンで活用できる能力を養う。

科目名	授業科目の概要
ITと社会	ITについて専門的に学んだことが無い学生を対象に、現代社会におけるデジタル技術やITの役割とその影響を理解することを目的とする。AI、ロボティクス、ビッグデータ、ブロックチェーン、5Gや6Gなどの最新テクノロジーについて学び、これらがどのように社会課題の解決に寄与しているか、事例を交えて学習する。また、地方創生や教育分野などにおいて昨今のテクノロジーの活用方法についても取り上げる。デジタルやITの基礎から最新技術まで幅広く学び、社会におけるIT技術の重要性を理解することを目指す。
IT戦略概論Ⅰ	「IT戦略概論Ⅰ」では、ITの基本概念と最新技術について幅広くカバーする。ビジネスシーンや実社会でITが活用されている事例を取り上げ、分析することで、技術に関する知識と同時に論理的思考力や課題解決力の素地を養う。DXや生成AIなど、ビジネスシーンでトレンドとなっている事例を取り上げ、またその技術にも触れることで、ビジネスパーソンとしてはもちろん、生活者としても必要なITリテラシーを身に付ける。また、社会課題へ目を向けることで、社会の構成員としての当事者意識を醸成することを目指す。
IT戦略概論Ⅱ	この科目では「IT戦略概論Ⅰ」で学んだ内容や課題意識をさらに深め、実際にITを活用した問題解決のプロセスを体験する。興味のある分野のテーマから、問題発見の方法から、データやリサーチをもとにユーザーの行動を分析する手法、解決策に落とし込む際の戦略の立て方まで一気通貫で学ぶ。また、要件定義やプロジェクトマネジメントの方法についても押さえることで、IT業界で必要とされる知識も同時に習得する。IT業界はもちろん、幅広い業界で必要とされる論理的思考力や課題解決能力、IT技術へのリテラシーを高めることを目的とする。
情報化技術Ⅰ	「情報化技術Ⅰ・Ⅱ」では、生活やビジネスを支えるITに関する基本的な知識を身につけることを目的とする。この科目ではコンピュータやソフトウェア、ネットワークなど、社会生活のインフラとなっている基礎技術の知識を身につける。また、データベースや近年注目されているビッグデータの活用手段についても学ぶ。この科目を通して、IT業界はもちろん、広くビジネスシーンでの業務課題の解決のベースとなる力を備えることを目指す。
情報化技術Ⅱ	「情報化技術Ⅰ」で学んだITに関する基礎的な知識に加え、セキュリティやシステム開発の流れやプログラミングなど、より専門的な内容を学ぶことで、IT業界や、IT業界と関わりながら働くために必要な知識を身につける。また、ITに関する知識に留まらず、企業活動や経営に関する知識も網羅することで、広く情報化社会で生活する上で、実用的な知識を身につけ、活用できることを目的にする。
WEB開発Ⅰ	この科目では、WEB開発の基礎を学ぶ。プログラミングの初心者でもわかるように、WEBサイトの基本的な構造や概念とHTMLとCSSの役割を理解する。その後は実際にHTMLとCSSのコーディングを行いつつ基本操作とスタイリング技術を学び、レイアウトやデザインの応用を通じて、実際のホームページを作成するための素地を養う。また、フォントや書式の変更や背景色の設定、アニメーションの実装など、視覚的に魅力的なWEBサイトを作成する技術を学ぶ。
WEB開発Ⅱ	「WEB開発Ⅰ」で学んだHTMLとCSSの技術を活かして、実際のWEBサイトを制作し、ポートフォリオを作る。ホームページを作るための流れを丁寧に説明することで、学生は着実にWEBサイト制作のスキルを身につける。また、コーディングのスキルだけでなく、ユーザーに見てもらうためのブランディングやコンテンツ制作の基礎についても学び、同時にレスポンシブデザインの知識や、UIやUXの視点も養うことで、ユーザー目線でのWEBサイト制作ができる知識を身につける。
プログラミング基礎Ⅰ	「プログラミング基礎Ⅰ」では、普段人々が生活で使用しているWEBサービスやアプリケーションがどのような仕組みやプログラムで稼働しているかを学ぶ。プログラミング言語としては、広く社会で活用されているJavaを取り上げる。授業を通して、Javaがどのような言語であるかを学びつつ、プログラミングの流れを理解する。まずはプログラミングの基礎的な要素である変数やデータ型、演算子の概念を押さえ、if文やswitch文といった基本的な構文を学ぶ。この科目を通じて、初めてプログラミングに触れる人でも、基礎をしっかりと身につけ、論理的思考力の向上を目指す。
プログラミング基礎Ⅱ	「プログラミング基礎Ⅱ」では、「プログラミング基礎Ⅰ」で学んだ内容の延長として、Javaの基本的な構文や技術を学びつつ、徐々に応用的な技術に発展させていくことで、プログラミングスキルと論理的思考力の更なる向上を図る。また、コーディング規約の概念とデバッグについて学習することで、開発現場で重視されるプログラミングの作法とその重要性を理解し、プログラムの品質を向上させるために押さえておくポイントを学ぶ。
プログラミング応用Ⅰ	「プログラミング応用Ⅰ」では、「プログラミング基礎Ⅰ・Ⅱ」で学んだ内容をもとに、効率的なプログラム設計を可能にする、オブジェクト指向の考え方について学ぶ。メソッドの処理やクラスの構造について段階的に学び、オブジェクト指向のメリットを理解するとともにJavaプログラミングの知識を深める。また、オブジェクト指向の要素を押さえることで、世の中で使用されているその他のオブジェクト指向プログラミング言語への理解を早め、汎用的なスキルとして知識を身に付けることを目指す。
プログラミング応用Ⅱ	「プログラミング応用Ⅱ」では、オブジェクト指向プログラミングのさらに高度なスキルを身につける。継承や抽象クラス、インターフェイスなどの技術や概念について丁寧に解説し、演習することで、コードの再利用性や保守性、機能の拡張性を高めるスキルを身につける。また、プログラムの実行中に発生する不具合である例外とその処理についても学び、信頼性のあるプログラムを書くための知識を身につける。この科目を通じて、より実用性のあるプログラムを構想する論理的思考力を養う。

科目名	授業科目の概要
IT開発プロジェクトⅠ	この科目では、これまで身につけたITの知識や論理的思考力を活かした、サービス開発のプロセスについて学習する。学習を進める上では、IT技術の専門知識を活用するだけでなく、人間中心主義的なデザイン思考を取り入れることによって、ユーザー起点で課題解決をするための考え方を身につける。また、解決策の立案だけでなく、その裏付けとなるユーザー調査の方法やそれを効果的に他者に伝えるための手法も取り上げる。この科目を通して、IT業界でのサービス開発に限らず、広くビジネスシーンで活用できる課題解決の思考プロセスを身につける。
IT開発プロジェクトⅡ	この科目では「IT開発プロジェクトⅠ」で学んだ、人間中心的な情報デザインの考え方を活かしつつ、クライアントから課題解決を依頼されたことをシミュレーションして、サービス開発のプロセスを体験する。クライアントの課題の深掘りと特定から、ユーザー調査の設計、サービスコンセプトの作成と立証のプロセスを経て、企画書と要件定義の作成・提案までを実施することを想定して行う。この授業を通して、ITに関する専門的な知識をもって、社会課題をユーザー起点で解決する課題解決力と論理的思考力、提案力を身につける。

《総合研究》

科目名	授業科目の概要
デュアル実習	本学科の学びの集大成として、主に社会人学生を対象に、実務経験と学習内容を結びつけた実践的な学びである。学生は自身の職場や選定された実習先での業務を通じて、これまで学んだ理論や知識を実践に活用する方法を養う。実習中に課題を設定し、解決策を考案・実行するプロセスを体験することで、問題解決能力や業務改善スキルを養う。また、振り返りやレポート作成を通じて、経験を体系化し、新たな視点で自身のキャリアを見直すことができる。この科目を通じて、学びと実務の相乗効果を最大化し、現場で即戦力として活躍できるスキルと知見を深めることを目指す。
プレゼンテーション演習	本学科の学びの集大成として、自身が学んできた内容をもとにテーマを設定し、プレゼンテーションする。資料構成、デザイン性、配色、配色、話し方や表現の仕方、「間」の取り方、全体構成力、表現力を養う。プレゼンテーションスキルの向上を目的とし、説得力や共感を引き出す表現方法を学習するとともに、他者からのフィードバックを受けることで、自分の伝え方や内容を見直し改善を図る。また、実際にプレゼンテーションを行い成果を発表する場を設ける。この科目を通じて、専門的な知識を効果的に伝える力と自己表現の自信を身につけ、実社会での活用を目指す。
卒業研究発表	本学科での学びの集大成として、各自がこれまでに取り組んだ学びを調べ、その結果を明らかにする。学生はこれまで習得した知識やスキルを活用し、独自のテーマに基づいた研究成果を導き出す力を養う。そして、研究内容の整理と多様な視点、論理性、仮説と検証を踏まえて、プレゼンテーション、論文、動画や作品など何らかの方法で研究成果を発表する。また、発表後の質疑応答やディスカッションを通じて、他者の視点や意見を取り入れ、自身の研究をより深める機会を提供する。この科目を通じて、学びの成果を形にし、卒業後のキャリアや実社会で役立つ応用力と表現力を培うことを目指す。